

平成30年度

江東区立水神小学校

6月号

水神小だより

発行 平成30年5月31日 校長 小池 洋



最後までエンジン全開 がんばろう

副校長 城石 美奈子

5月26日土曜日に、運動会が開催されました。天気に恵まれ、絶好の運動会日和でした。全力で頑張るこどもたちに、声援を送って下さいましたご来賓・保護者・地域の皆様、運動会会場を見回り・片付け等運営支援していただいた担当の皆様には心から感謝申し上げます。

今年の運動会のスローガンは「最後までエンジン全開がんばろう」でした。そのスローガン通り、こどもたちは全力で頑張っていました。

開会式ではこどもたちの「これからがんばるぞ」という意気込みあふれる姿がありました。それは、整列する姿にあふれていました。運動会では、儀式を重んじることを学び、友を応援することを学び、全力を出し切ることを学ぶ場です。今回の運動会で、こどもたちは多くのことを学んだことでしょう。

私にとっては、1年生と同じ、初めての水神小学校での運動会でした。開会式で歌われる「運動会の歌」は、なんと、水神小独自の歌でした。この歌にも水神小学校の伝統が受け継がれているのだな・と驚きとともに感動しました。

1・2年生の演技「さあいこう！ぼくらのぼうけん」は、こどもたちが大好きなドラえもんの曲にあわせ、笑顔で大きく体を動かしていました。隊形移動もしっかり覚えていて、観ている観客みんなが笑顔になっていました。「ビッグスプーンリレー」のビッグスプー

ンは、図工専科も協力して作り上げたそうです。新しい試みでした。

「イーヤーサーサー！！」

運動場に威勢のよい声が鳴り響きました。3・4年生の演技「水神エイサー ～七月節～」です。体を大きく動かし、笑顔で踊っていました。衣装も決まっています、とても格好よかったです。休み時間にエイサーの練習をしているクラスもありました。エイサーとは、祖先の霊を送迎するため、若者たちが歌と囃子（はやし）に合わせ、踊りながら道を練り歩き、踊りを通して他との関係が縁となって生起し、多岐にわたり繋がりを大事にしながら踊る沖縄の伝統芸能だそうです。まさに中学年の子たちは、踊りを通して団結することを意識したようでした。

5・6年生は、今年度初挑戦をした集団行動を取り入れた演技「水神組曲～One for all, All for one～」でした。近年、組体操は、危険防止のために行うことをやめる学校が増えています。組体操は、お互いに力を貸し合ったり、体重を利用し合ったりして1人では行えない効果を狙った運動です。お互いの役割を理解し、責任を果たす姿勢が育ちます。これは集団行動も同じです。当日は、今までで1番よくできていました。高学年ならではの力強い演技でした。

水神小学校の伝統、全学年での「水神鼓笛 2018」全学年での鼓笛・と聞いたとき、入学したての1年生も含め、できるのだろうか・と驚きを隠せませんでした。でも、当日は、きれいに交差ができて全学年での鼓笛を見事に決めました。伝統が身についているように感じました。

素晴らしい運動会でした。

伝統の水神太鼓も素晴らしい限りでした。会員募集しています。

